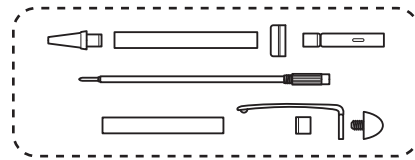
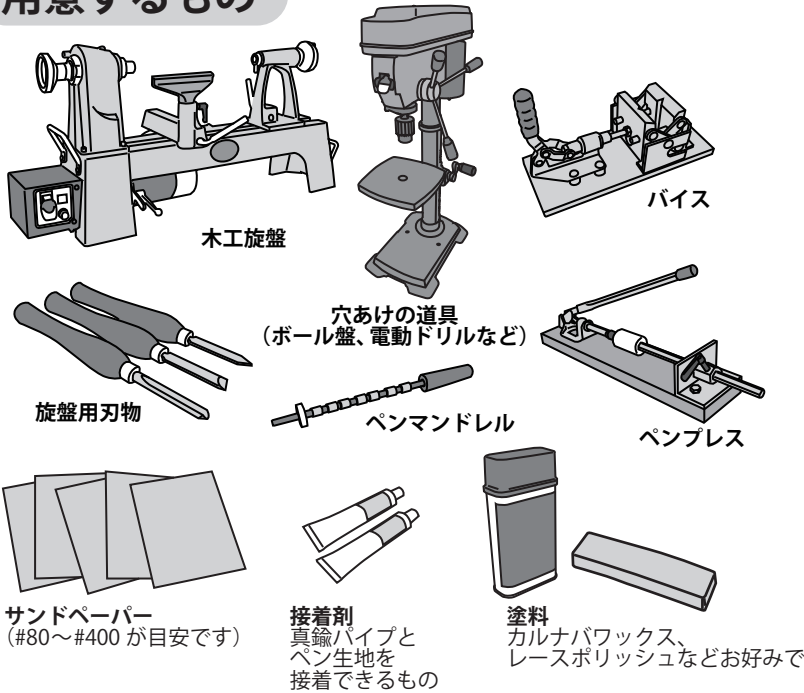


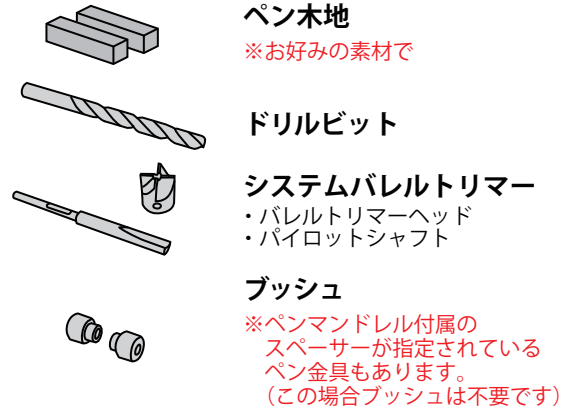
# ペン作りの手引き

## 用意するもの



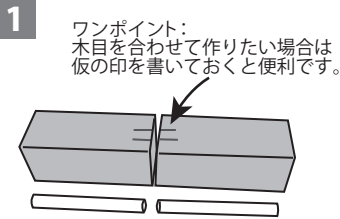
ペン金具  
※図は一例です。

ペン金具によって用意するサイズが変わります。

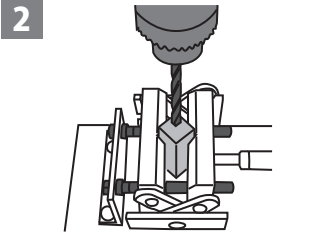


## ペン作りの手順

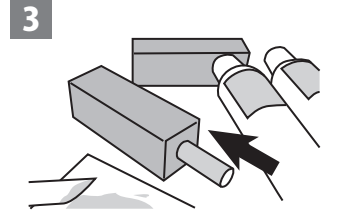
### 木地の準備(パイプを木地の中心に通す)



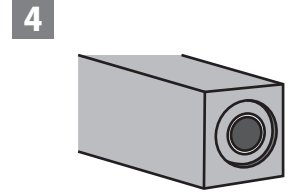
ペン金具に付属のパイプの長さより少し長めの木地を用意します。  
※パイプが2つに分かれている場合などは木地を切ります。木目が揃うようにすると仕上がりが良くなります。



木地の中心に、パイプの外径に合わせたサイズのドリルで穴をあけます。  
※穴あけ中はドリルに木くずがたまります。ドリルをこまめに引き抜いて木くずを排出してください。

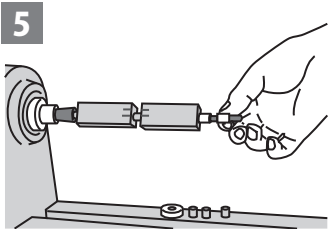


真鍮パイプの表面に接着剤をまんべんなく塗って穴に挿入し、硬化を待ちます。  
※真鍮パイプの内側に接着剤が入らないように注意しましょう。

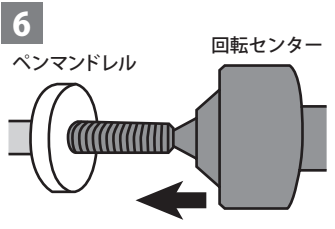


硬化したらシステムバレルトリマーでパイプと材料の端面を平らにします。パイプの端に到達するまで削り、到達したところですぐに止めてください。  
※削りすぎないように注意。

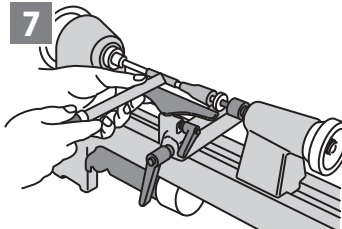
### 木地を削る(ボディの作成)



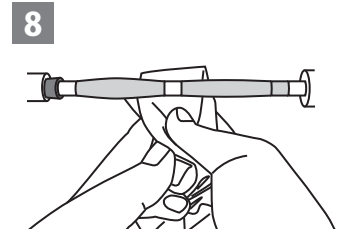
旋盤にペンマンドレルを取り付け、スペーサー・木地・ブッシュを入れ、固定します。



ペンマンドレルの端を回転センターを取り付けたテールストックで押さええます。  
※押さえる力が強すぎるとペンマンドレルがたわみ、ブレてしまうので注意しましょう。

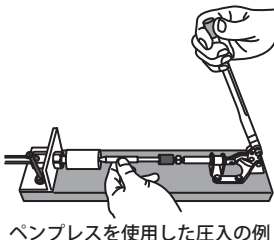
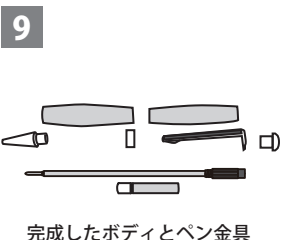


お好みの形状に木地を削ります。木地の両端はブッシュまたはスペーサーの径に合わせてください。  
※最後にサンドペーパーで削る分を考慮して、この段階で少し厚さを残します。



サンドペーパーで表面を整え、お好みの塗装をし、乾燥したらボディの完成です。

### ペンを組み立てる(圧入)



ペンプレスをを使い組み立てればペンの完成です。

### 作り方をもっと詳しく知りたい方はこちら

ペン作りを工程ごとに写真付きで詳細に解説

[ターニング道場 ペン](#) [検索](#)

初心者にもわかりやすい! YouTubeで解説

[はじめての木工旋盤](#) [検索](#)